

(様式 17)

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士 (医 学) 氏 名 羽原 美奈子

審査担当者	主査	教授	生駒一憲
	副査	教授	山本有平
	副査	准教授	遠山晴一
	副査	教授	寺沢浩一

学 位 論 文 題 名

特発性大腿骨頭壊死症患者に対する生活の質研究

本研究は、特定疾患に認定されている、特発性大腿骨頭壊死症 (ION) 患者を対象とした。患者ニーズに関するインタビュー調査、無記名自記式質問紙票による QOL 評価で、ION 患者の生活実態とケアの在り方を検討することを目的とした。その結果、患者ニーズとして 4 ニーズが、また身体的 QOL に関連が強い 2 因子、精神的 QOL に関連が強い 4 因子が抽出された。申請者は患者支援を行う際、これらの患者ニーズや QOL 研究で明らかになった視点を重視し、地域での各種政策の基礎資料として、これらの視点を考慮していくことの必要性を強調した。

質疑応答では、山本教授から ION 以外の QOL 研究、他疾患との比較について質問がなされ、ION が精神的にも社会的にも支援が必要であるという特徴が明示される期待がある旨の助言が得られた。遠山准教授からは、ION 発症にステロイド治療が関与していることを前提に、患者からの医療不信に関する表出やニーズはなかったか、さらにその際の精神的 QOL との関連、ADL 障害と精神的 QOL との関係について質問がなされた。また SF8 の使用に関し下位項目の検討は厳しいという助言を得た。寺沢教授より質的研究について、グループ面接導入の理由、データの分析方法と意思決定の方法に関する質問がなされた。最後に、生駒教授よりグループ面接の方法論、患者ステロイド治療率と治療時期、調査結果をどう生かしていきたいかの質問があった。

いずれの質問に対しても、申請者は自身の研究から得られたデータや分析結果、考察、先行研究などから概ね妥当に回答した。

この論文は、薬の副作用も関与しているとみられる ION といった稀な疾患のケアの在り方を問う最初の論文である。ION 患者の QOL を社会的視点から分析した点でも高く評価できる。

審査員一同は、これらの成果を評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ申請者が博士 (医学) の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。